

勝利とは言わないが負けなかった

塩釜 山形(県都)
新庄 米沢 村山

各地でお礼の報告集会



雇用問題の解決目指して「がんばろう！」

また「この闘いは勝利とは言えないかも知れない。しかし和解という解決を勝ち取ったという意味においては、負けなかった闘いと言えるのでは」と今回の解

決についての感想を述べた。闘いを支えた力。関野氏は、「この闘争を支えた力は、①首を切られた仲間同士の団結力②家族・親戚など身内の支える力③国労組合員の支える力④共闘の皆さんの支える力であり、どれ一つ欠けても本日のお礼の報告が出来なかった」と述べ、最後に「この闘争で全国の多くの仲間の皆さんという『玉』を得た。今後は学び掴んだことを皆さんに返していきたいし、それが支援に対するお礼になると考えている」と報告を締めくくった。

今の実感
重い荷物降ろせた
新庄地区報告集会は新庄市市文化会館で開催され、共闘・国労組合員約70名が参加。主催者を代表し、岡田山形県平和センター議長よりお礼の挨拶が述べられ、また本部から参加した濱中書記長が闘いの始まりから解決に至る経過を報告した。音威子府闘争団を代表し参加した関野副団長は、「重い荷物を降ろせたという感じ。解決したという実感はまだない。雇用問題が解決した時に、二重の喜びとして表れると思う」と現在の心境を述べた。

山形県内では、8月3日に県都集會を開催したのを皮切りに、5日は新庄、6日に米沢、7日には村山と三地区において報告集會と

国労本部指導のもと、全国各地に於いて「JR不採用問題解決報告集會」が開催されている。仙台地本内では宮城・福島で県都集會が開催されたが、山形を始めとした各地で報告集會が開催された。

全面解決に向け決意固める

国労せんだい

No. 2590
2010年8月20日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

塩釜発 雇用問題解決に奮闘



雇用解決まで団結して頑張ろう！

8月3日、塩釜市ブラйдアルわかばにおいて、塩釜地区平和労組会議主催「JR不採用事件解決報告塩釜集會」が開催されました。集會は平和労組小野事務局長の司会で進められ、最初に、解決を見ず亡くなられた64名の闘争団の仲間に対して黙祷を捧げました。続いて庄司議長の挨拶、そして塩釜市議会で自治体決議採択に向けご尽力いただいた社民党東海林京子市会議員が来賓として見え

れ、当時の状況を含め挨拶を頂きました。国労本部からは鈴木中央執行委員から解決に至るまでの経過が報告され、また仙台闘争団団長の高橋敏夫さんからは23年間の支援に対する御礼が述べられました。最後に仙台地本橋本委員長から支援の御礼と、引き続き雇用問題の解決に向けて奮闘していく決意が述べられ報告集會は終了しました。(幸)

8 7 7 7 7
1 29 26 25 9
第9回執行委員会
東日本運輸協議会東北ブロック集會
地本運輸協議会定期委員会
団交申12号 宮城野運輸区における諸問題
安全問題プロ・支部業務部長合同会議

8 8 8 8 8
7 6 5 3 3
JR不採用問題解決報告塩釜地区集會(記事)
同山形県都集會(山形ビックウイング)
同最上地区集會(新庄市市民文化会館)
同置賜地区集會(米沢市置賜総合文化セ)
同北村山地区集會(村山市民会館)

安プロ・業長会議から

会議では系統を超えて様々な職場の実態を出し合い議論をするが、そこで明らかになったことは……。

●列車見張りを省略！
▼福島のある地区の施設系職場では会社が定める保安体制を整えないまま(列車見張員の一部省略)作業する場合もあると聞く。組合員が複数名居るのだが、こうした実態に管理者も見えて見ぬふり。同じ地区の他職場ではしっかりと保安体制を整え作業しており、職場・

安全削って作業優先 系統違えど現象同じ

と言うと、「応援を頼むから」と返答はあるが、実際は誰も来ない。ラインを止めるわけには……と、つい不安全な体制のままやってしまう。

みんなで確認
結局要員不足が
原因！会社を引
っぱり出さない

●5人作業を3人で！
▼郡総では多くの直轄作業が4月から外注化され、作業員の安全と車両の安全に不安を感じている。車両の耐圧試験は配線がしっかりと頭に入っていないと出来ない。外注化された等なのに、呼び出しがかかる。「行かなければいいのに」と思うが、実際は行ってしまふ。リフティングジャッキでの作業では5名で行うとJRもTKKも知っている。しかし3名での要員配置で作業指示。「人が足りない」

組員同士で関係が悪くなっている。

